

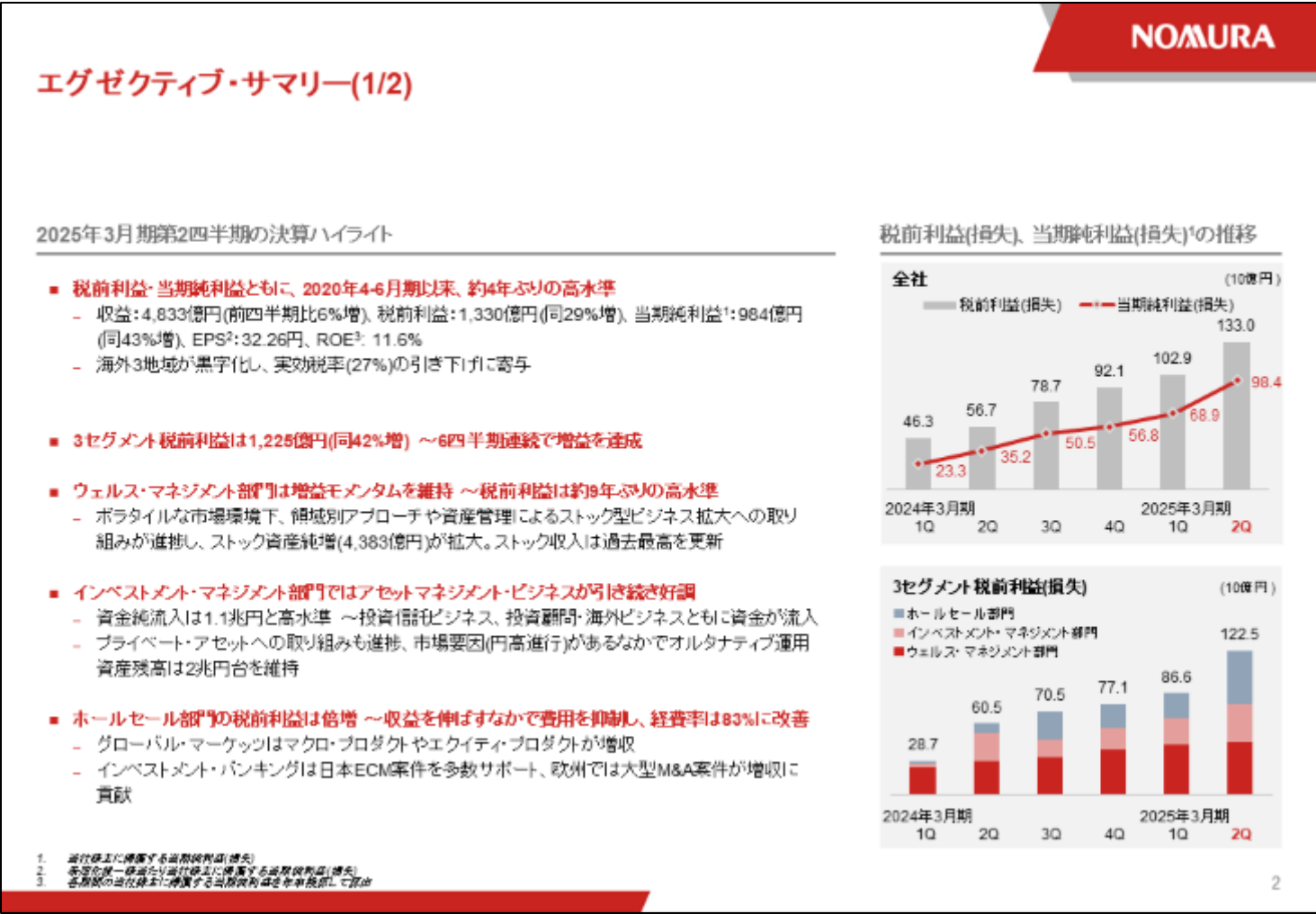


CFOの北村です。

2025年3月期第2四半期の決算についてご説明いたします。2ページをご覧ください。

目次

プレゼンテーションの概要	Financial Supplement
■ エグゼクティブ・サマリー(P2-3) ■ 2025年3月期決算の概要(P4) ■ セグメント情報(P5) ■ ウェルス・マネジメント部門(P6-8) ■ インベストメント・マネジメント部門(P9-10) ■ ホールセール部門 (P11-13) ■ 金融費用以外の費用(P14) ■ 強固な財務基盤を維持(P15)	■ バランス・シート関連データ(P17) ■ バリュース・アット・リスク(P18) ■ 連結決算概要(P19) ■ 連結損益(P20) ■ 連結決算: 主な収益の内訳(P21) ■ 連結決算: セグメント情報と地域別情報 税前利益(損失)(P22) ■ セグメント「その他」(P23) ■ ウェルス・マネジメント部門関連データ(P24-27) ■ インベストメント・マネジメント部門関連データ(P28-29) ■ ホールセール部門関連データ(P30) ■ 人員数(P31)



エグゼクティブ・サマリー(2/2)

NOMURA

2025年3月期上半期の決算ハイライト

■ 税前利益:2,359億円(前年同期比129%増)、当期純利益¹:1,673億円(前年同期比186%増)、EPS²: 54.58円、ROE³: 10.1%
- 主要3セグメントが好調 ~安定収益の着実な積み上がりやホールセール部門収益の多様化など、**中長期的な取り組みが成果として顕在化**

■ 3セグメント合計の税前利益は2,091億円(前年同期比134%増) ~各セグメントが収益を伸ばす一方で費用を抑制し、大幅増益を達成

- ウェルス・マネジメント部門の税前利益は9年ぶりの高水準 ~資産管理型ビジネスへの取り組みが浸透し、ストック収入は前年同期比で3割増加
- インベストメント・マネジメント部門の利益も倍増 ~事業収益は2021年4月の部門設立以降で最高、投資損益も改善
- ホールセール部門業績も大幅に回復 ~すべてのビジネスライン、すべての地域で収益が伸長する一方、コスト・コントロールは徹底

■ 1株当たり配当金:中間23円

	2024年3月期 上半期	2025年3月期 上半期	前年同期比
収益(金融費用控除後)	7,167億円	9,378億円	31%
税前利益(損失)	1,030億円	2,359億円	129%
当期純利益(損失) ¹	586億円	1,673億円	186%
EPS ²	18.62円	54.58円	193%
ROE ³	3.6%	10.1%	

税前利益(損失):セグメント情報

	2024年3月期 上半期	2025年3月期 上半期	前年同期比
ウェルス・マネジメント部門	520億円	875億円	68%
インベストメント・マネジメント部門	268億円	551億円	105%
ホールセール部門	104億円	664億円	6.4x
3セグメント合計	892億円	2,091億円	134%
その他	154億円	289億円	87%
営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	-16億円	-20億円	-
税前利益(損失)合計	1,030億円	2,359億円	129%

1. 当決算本に帰属する当期純利益(損失)

2. 普通株式1株当たり当決算本に帰属する当期純利益(損失)

3. 各部門の当決算本に帰属する当期純利益(損失)を加重平均して算出

4. ウェルス・マネジメント部門のストック収入、インベストメント・マネジメント部門の事業収益等

3

左下にありますように、収益は9,378億円、前年比31%の増収、税前利益は2,359億円、129%の増益、当期純利益は1,673億円、186%の増益、EPSは54円58銭、ROEは10.1%となりました。

右下は、税前利益のブレイクダウンです。主要3セグメントの税前利益合計は2,091億円となり、すべての部門が大幅増益を達成しました。昨年5月のインベスター・デーで掲げた2025年3月期通期のKGI目標2,880億円に対して、既に7割を超えています。

ウェルス・マネジメント部門では資産管理型ビジネスへの取り組みが浸透し、ストック収入は3割増加しました。インベストメント・マネジメント部門でも、アセットマネジメント・ビジネスが着実に積みあがっており、事業収益は部門設立以降で最高となっています。両部門で、残高に応じて頂く収益、いわゆる安定収益が、継続的に積みあがっています。

ホールセール部門では、フィクスト・インカム、エクイティ、インベストメント・バンキング、すべてのビジネスライン、そしてすべての地域が増収となり、収益の多様化が進んでいます。収益が約3割伸びる一方で、費用を抑制した結果、税前利益は6.4倍の大幅増益となりました。

こうした業績を受けまして、9月末を基準とする配当金は一株当たり23円とさせていただきます。配当性向は40.6%です。

それでは、第2四半期の各セグメントについて、ご説明します。6ページをご覧ください。なお、いまから申し上げるパーセンテージは、すべて前四半期との比較になります。

3

2025年3月期決算の概要

決算ハイライト

(10億円、EPS及びROEを除く)										
	2024年3月期			2025年3月期		前四半期比	前年同期比	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q			上半期	上半期	
収益合計(金融費用控除後)	367.8	400.2	445.1	454.4	483.3	6%	31%	716.7	937.8	31%
金融費用以外の費用	311.0	321.5	353.0	351.5	350.3	-0.3%	13%	613.6	701.8	14%
税引前利益(損失)	56.7	78.7	92.1	102.9	133.0	29%	134%	103.0	235.9	129%
当期純利益(損失) ¹⁾	35.2	50.5	56.8	68.9	98.4	43%	179%	58.6	167.3	186%
EPS ²⁾	11.21円	16.10円	18.02円	22.36円	32.26円	44%	188%	18.62円	54.58円	193%
ROE ³⁾	4.3%	6.2%	6.8%	8.1%	11.6%			3.6%	10.1%	

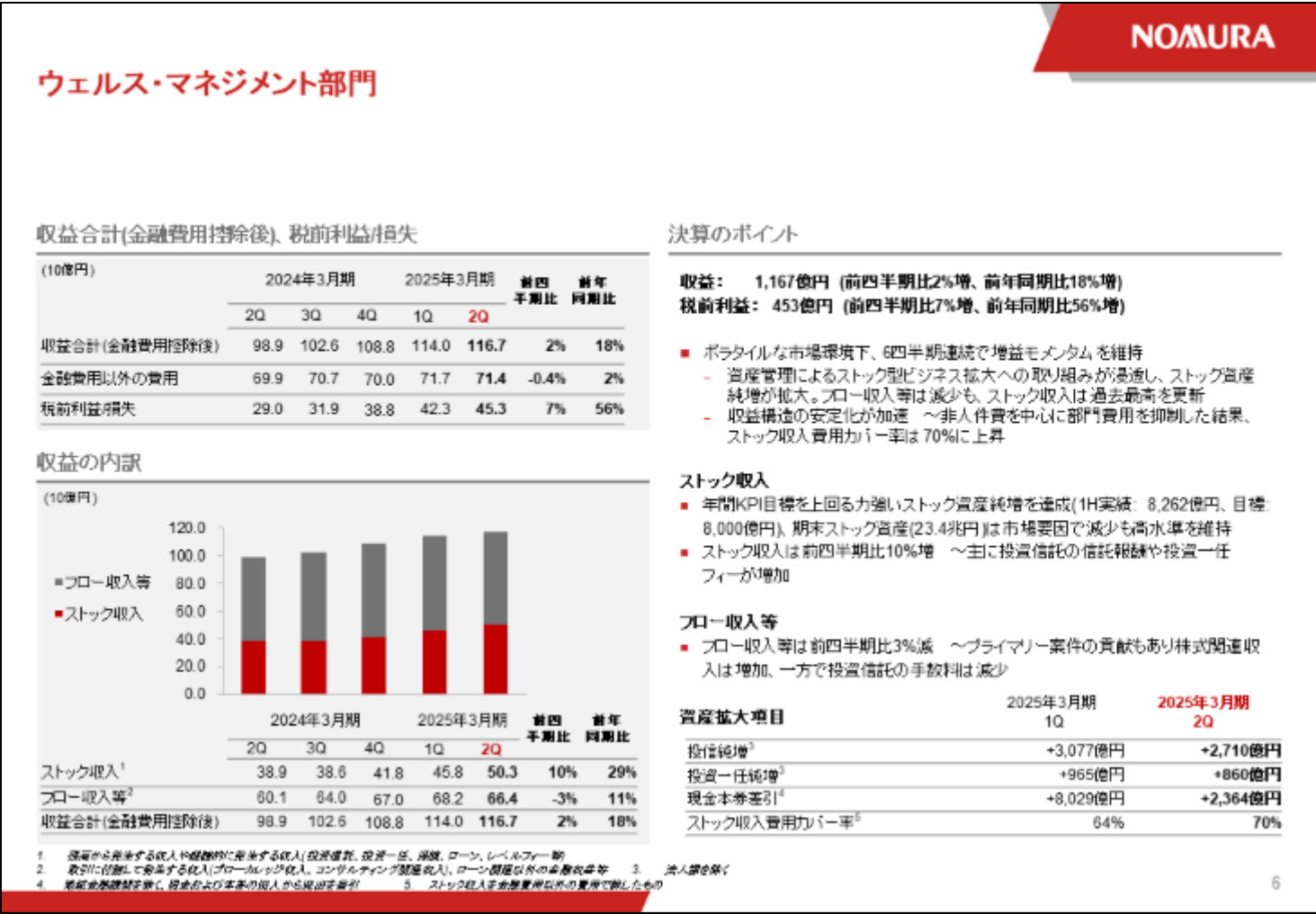
1. 当社株主に帰属する当期純利益(損失)
2. 普通株式1株当たり当社株主に帰属する当期純利益(損失)
3. 各期別の当社株主に帰属する当期純利益を年率換算して算出

セグメント情報

収益合計(金融費用控除後)、税前利益(損失)

(10億円)		2024年3月期			2025年3月期		前四半 期比	前年 同期比	2024年3月期	2025年3月期	前年 同期比
		2Q	3Q	4Q	1Q	2Q			上半期	上半期	
収益	ウェルス・マネジメント部門	98.9	102.6	108.8	114.0	116.7	2%	18%	191.0	230.7	21%
	インベストメント・マネジメント部門	45.1	38.9	43.6	47.7	56.1	18%	24%	71.6	103.8	45%
	ホールセール部門	204.1	217.0	254.2	244.8	263.4	8%	29%	394.9	508.2	29%
	3セグメント合計	348.1	358.6	406.5	406.5	436.2	7%	25%	657.6	842.7	28%
	その他(※)	17.0	54.6	34.4	46.7	50.4	8%	197%	60.7	97.1	60%
	営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	2.7	-13.0	4.2	1.2	-3.2	-	-	-1.6	-2.0	-
	収益合計(金融費用控除後)	367.8	400.2	445.1	454.4	483.3	6%	31%	716.7	937.8	31%
税前利益 (損失)	ウェルス・マネジメント部門	29.0	31.9	38.8	42.3	45.3	7%	56%	52.0	87.5	68%
	インベストメント・マネジメント部門	23.2	15.6	17.8	23.2	31.9	38%	38%	26.8	55.1	105%
	ホールセール部門	8.3	23.0	20.6	21.1	45.3	114%	5.5x	10.4	66.4	6.4x
	3セグメント合計	60.5	70.5	77.1	86.6	122.5	42%	102%	89.2	209.1	134%
	その他(※)	-6.5	21.2	10.8	15.1	13.7	-9%	-	15.4	28.9	87%
	営業目的で保有する投資持分証券の評価損益	2.7	-13.0	4.2	1.2	-3.2	-	-	-1.6	-2.0	-
	税前利益(損失) 合計	56.7	78.7	92.1	102.9	133.0	29%	134%	103.0	235.9	129%

※ 2025年3月期第2四半期の「その他」に関する補足
■ 経済的ヘッジ取引に関連する利益(18億円)
■ デリバティブに関する自社およびカウンター・パーティのクレジット・スプレッドの変化に起因する利益(10億円)



ウェルス・マネジメント部門：
ボラタイルな市場環境においても、募集買付額は堅調

NOMURA

総募集買付額¹



総募集買付額は前四半期比14%減

- 株式：前四半期比13%減
 - 前四半期のTOB案件(1兆円超)剥落が、主な影響
 - ボラタイルな市場環境を投資機会と捉えた押し目買いもあり、上記影響を除く国内セカンダリー株式買付額は増加
 - 複数の大型案件が寄与し、プライマリー株式募集額も大きく伸長(3,380億円、前四半期比4.1倍)
- 債券販売額：前四半期比12%減
 - プライマリー案件の貢献により、外国債券の販売額は増加
 - 金利低下による様子見姿勢が強まり、国内債券の販売額は減少
- 投資信託：前四半期比18%減
 - 好調だった前四半期からは減少も、米国や国内成長株に投資する投資信託を中心に資金が流入
- 投資一任契約：前四半期比10%減
 - SMA、FW契約額は前四半期比で減少も、分散投資へのニーズは継続
- 保険販売額：前四半期比2%増
 - 米金利が高位安定推移する中、老後資金や相続準備ニーズを捉えた保険商品の販売が堅調

1. 法人顧客およびワークプレイス・ソリューション顧客向け

プロダクト別の募集買付状況について、7ページでご説明します。

総募集買付は5.9兆円と、前期から9,000億円ほど減少していますが、これは前期に1兆円超のTOB案件があったためです。

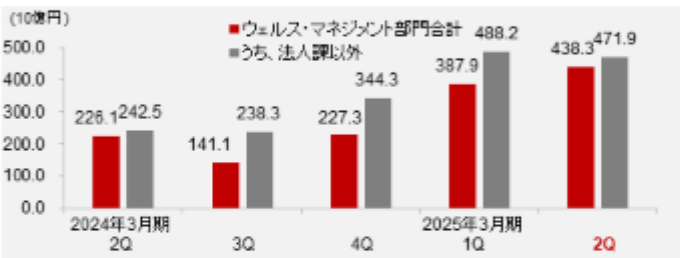
この影響を除いた株式募集買付額は、前期から増加しています。複数のプライマリー案件を手掛けたこと、また8月以降のボラタイルな市場環境をチャンスと捉えた押し目買いも入ったことで、4兆円を超える募集買付となりました。

投資信託や投資一任は強かった前期から減少していますが、昨年度の第4四半期までと比較すると高水準です。保険は老後資金や相続準備ニーズで伸びており、パートナーの提案やアドバイスで取引が起きやすい商品・サービスは、引き続き、しっかりしています。

ウェルス・マネジメント部門：KPIサマリー

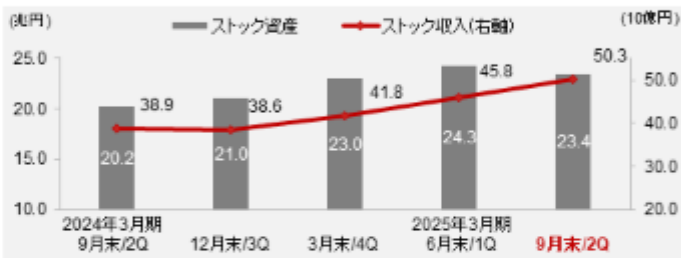
ストック資産純増¹

- 資産管理型ビジネスの浸透により、ストック資産純増の積み上がりが加速
- 年間KPI目標を上回って進捗(1H実績 8,262億円、目標 8,000億円)



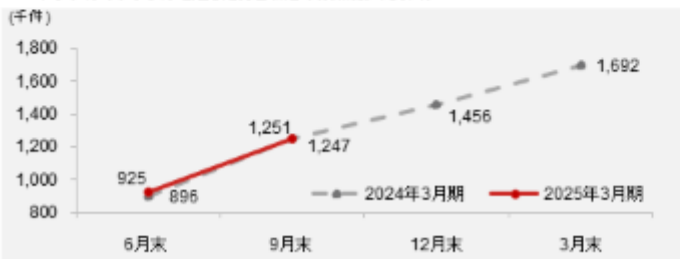
ストック資産およびストック収入²

- 市場要因で期末ストック資産は減少も、平価では前四半期並みの水準
- ストック資産純増の拡大や季節要因もあり、ストック収入は過去最高



フロービジネス顧客数

- PWMWM領域におけるパートナー増員により、お客様へのリーチが拡大
- アプリ等のデジタルを通じてお客様との接点拡大も奏功



ワークプレイスサービス提供数

- 持株会関連を中心に期間に拡大、2025年3月期の目標(366万件)を上回って推移



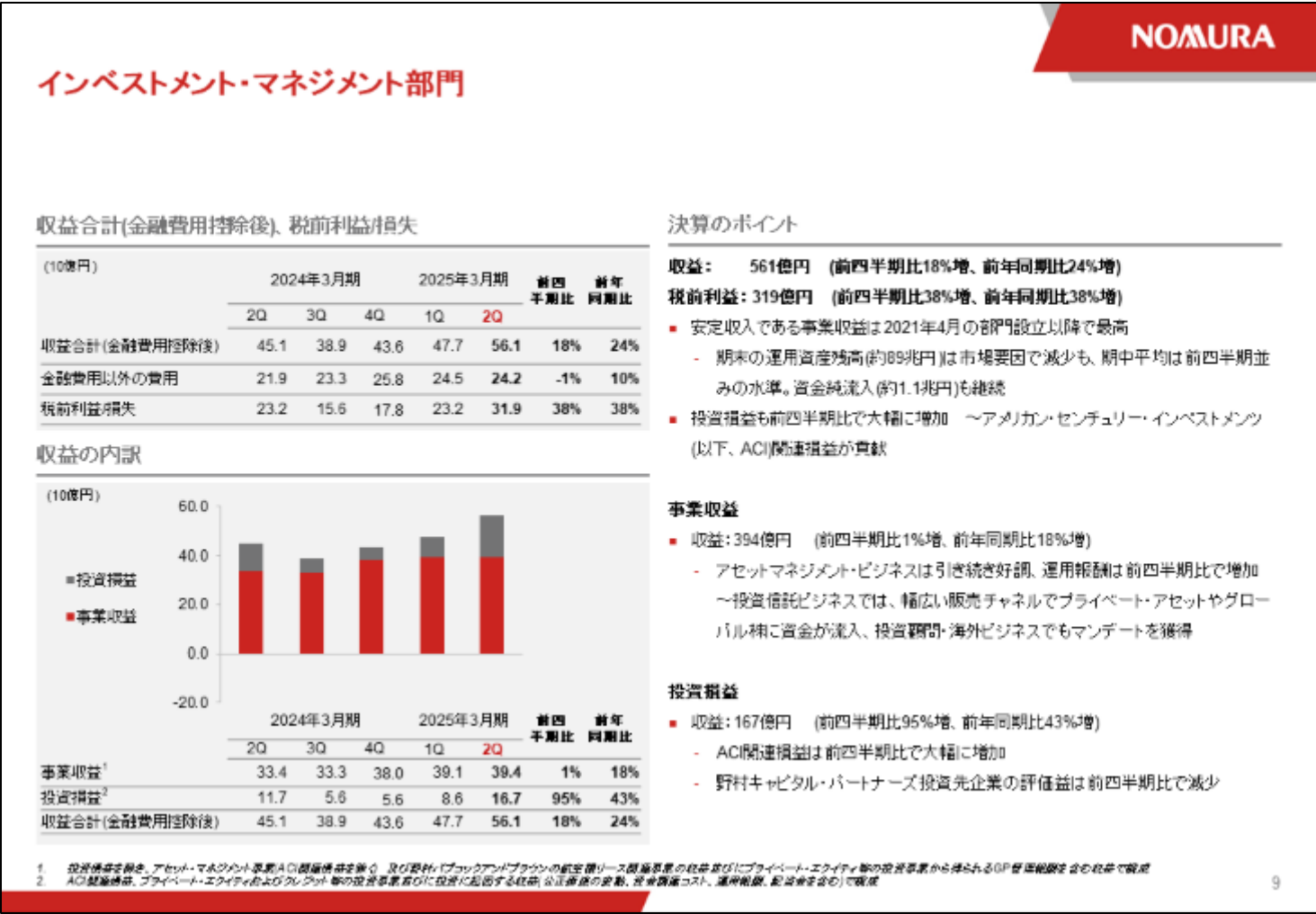
1. 投資分配金による純増を含まず、レベルファイブ域内の投資純増を反映した数値。2025年3月期1Qにストック資産純増の定義を見直し、2024年3月期4Q以降の集計を適正修正
2. 投資から発生する収入や経費的に発生する収入(投資収益、投資一任、譲渡、ローン、レベルファイブ等)

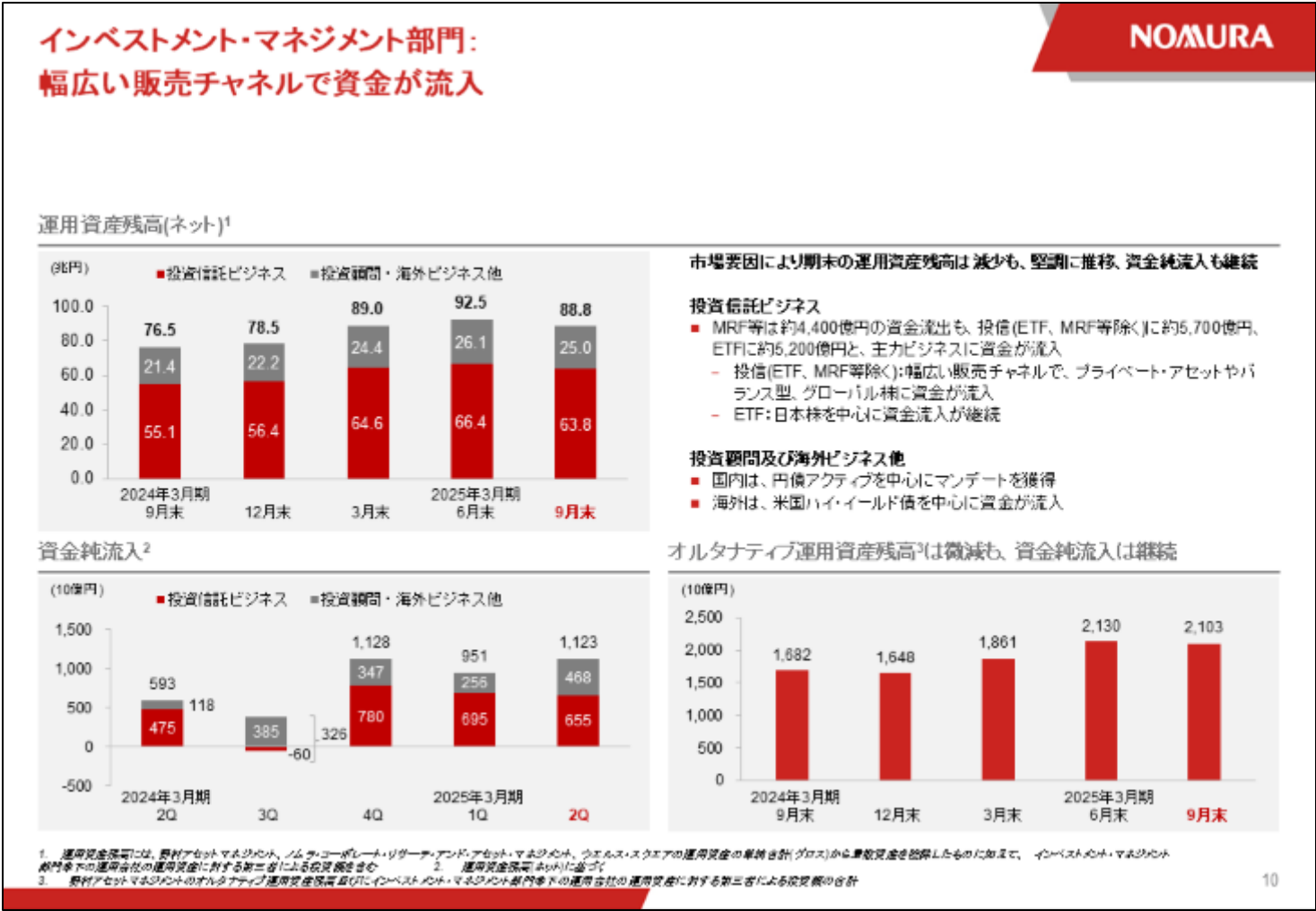
8ページのKPIも、今期の目標を概ね上回って進捗しています。

左上にありますようにストック資産純増は4,383億円と、好調だった前期よりさらに積み上がりました。その結果、上半期のストック資産純増は8,262億円と、年間目標である8,000億円を既に上回っています。

9月末のストック資産は23.4兆円と、市場要因で低下していますが、3ヵ月平均でみるとほぼ前期並みでした。プロダクトミックスの変化や、第2四半期は半期ごとに受け取るフィーもあり、ストック収入は過去最高を更新しています。

右下のワークプレイスサービス提供数は379万件と、こちらもKPI目標である366万件を既に上回っています。





決算のポイント

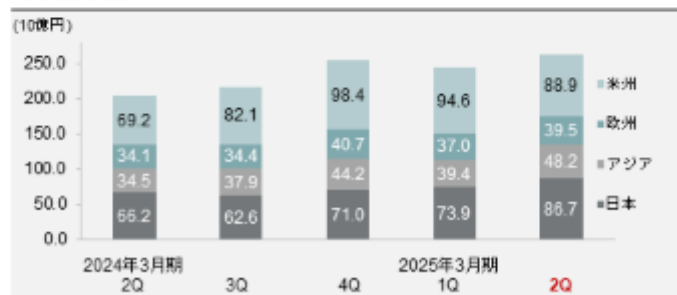
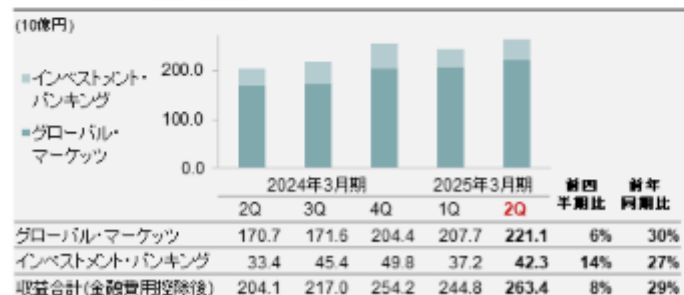
(10億円)	2024年3月期			2025年3月期		前四 年同期比	前年 同期比
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
収益合計(金融費用控除後)	204.1	217.0	254.2	244.8	263.4	8%	29%
金融費用以外の費用	195.8	194.0	233.6	223.7	218.1	-3%	11%
税前利益/損失	8.3	23.0	20.6	21.1	45.3	114%	5.5x
経費率	96%	89%	92%	91%	83%		
収益/資産リスク・アセット ¹	6.4%	6.7%	7.9%	7.3%	7.4%		

すべてのビジネスラインが前四半期比で増収

- グローバル・マーケットはマクロ・プロダクトやエクイティ・プロダクトが貢献し、6%増収 ～金融市場のボラティリティが上昇するなか、流動性供給を継続しつつ、活発な顧客フローを収益化
- インベストメント・バンキングは14%増収 ～日本でECM案件を多数サポート、欧州では大型M&A案件が増収に貢献

費用を抑制し、大幅増益を実現 ～賞与引当等は前四半期比で増加も、退職関連費用の減少や田舎進行で部門費用は低下

地域別収益

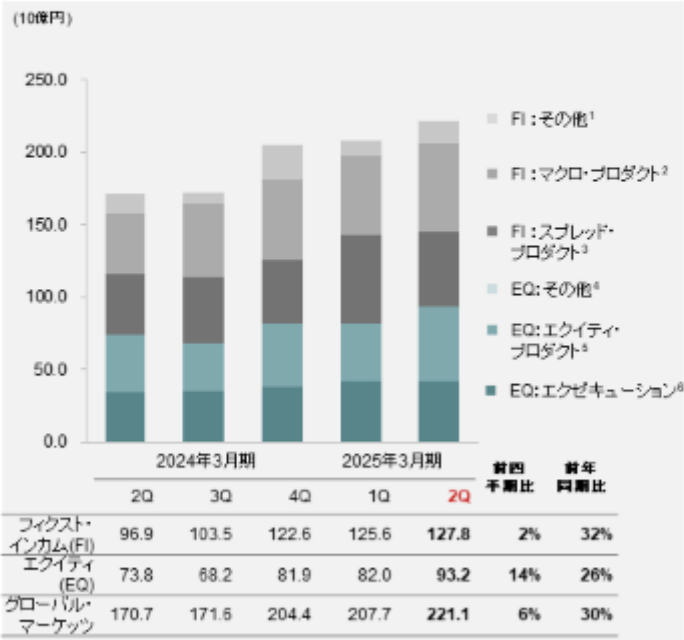


1. ホールセール部門収益会計システム開発費削減費、年度別定率、ホールセール部門が使用する標準リスト・アセット(香川県関係の日次平均)で算出したもの、標準リスト・アセット(香川県関係の日次平均)は国土交通省資料に基づいた値で、(1)バーゼルⅢ標準のリスク・アセットと、(2)バーゼルⅢ標準の資本適性項目を適合が内定で算定する値を資本比率で除して算出したリスク・アセット・適当額の合計

では、ビジネスラインごとに、説明します。12ページをご覧ください。

ホールセール部門: グローバル・マーケット

収益合計(金融費用控除後)



決算のポイント

- 収益: 2,211億円 (前四半期比6%増、前年同期比30%増)
- フィクスト・インカムは、金利プロダクトや為替/エマージングなどマクロ・プロダクトが伸長し、前四半期比で2%増収
 - エクイティは、日本・アジアのエクイティ・プロダクトが好調で前四半期比14%増収
- フィクスト・インカム**
- 収益: 1,278億円 (前四半期比2%増、前年同期比32%増)
 - マクロ・プロダクト: 金利プロダクトは顧客アクティビティが増加した日本・米州が増収、為替/エマージングはアジアが大幅回復
 - スプレッド・プロダクト: 証券化商品は米州中心に前四半期から減速もファイナンスが堅調で高水準を維持、クレジットは好調だった前四半期の反動で日本が減収
- エクイティ**
- 収益: 932億円 (前四半期比14%増、前年同期比26%増)
 - エクイティ・プロダクト: 顧客アクティビティが減少した米州が減収となるも、ファイナンス、デリバティブが好調な日本・アジアが牽引し、大幅増収
 - エグゼク्यूション: 海外株式市場の出来高が減少するなか、アジアは顧客フローを的確に捉えて増収。プライマリー案件の貢献もあり、日本は高収益を維持

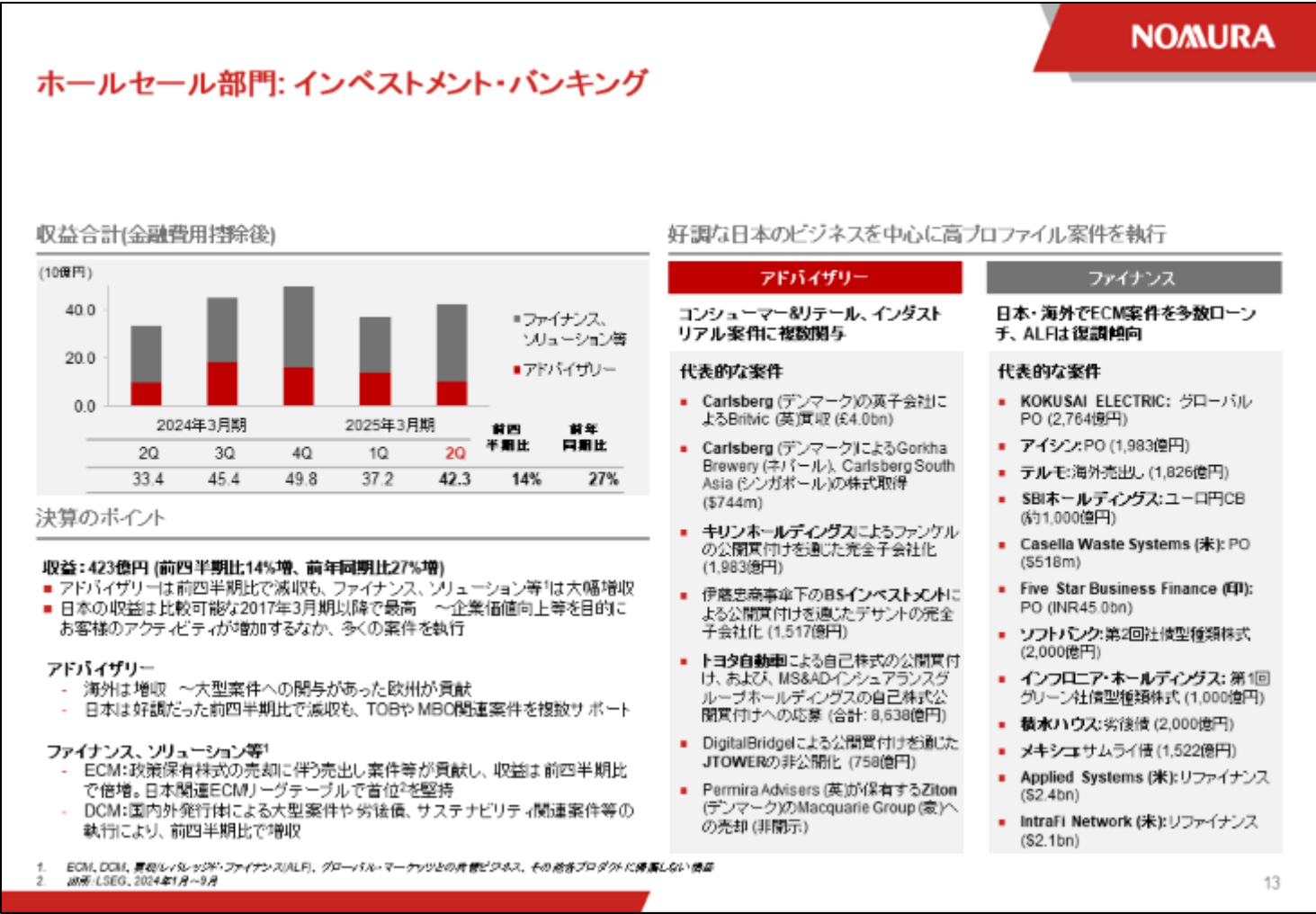
1. インターナショナル・クレジット・マネージメント、インベスメント・バンキングとの関連ビジネス、その他各デスクに所属しない業務 2. 金利プロダクト、為替/エマージング 3. クレジット、証券化商品
4. インベスメント・バンキングとの関連ビジネス、その他各デスクに所属しない業務 5. キャラクターおよびデリバティブのトレーディング、プライム・サービス 6. 株式執行ビジネス

まず、グローバル・マーケット収益は2,211億円、6%の増収となりました。

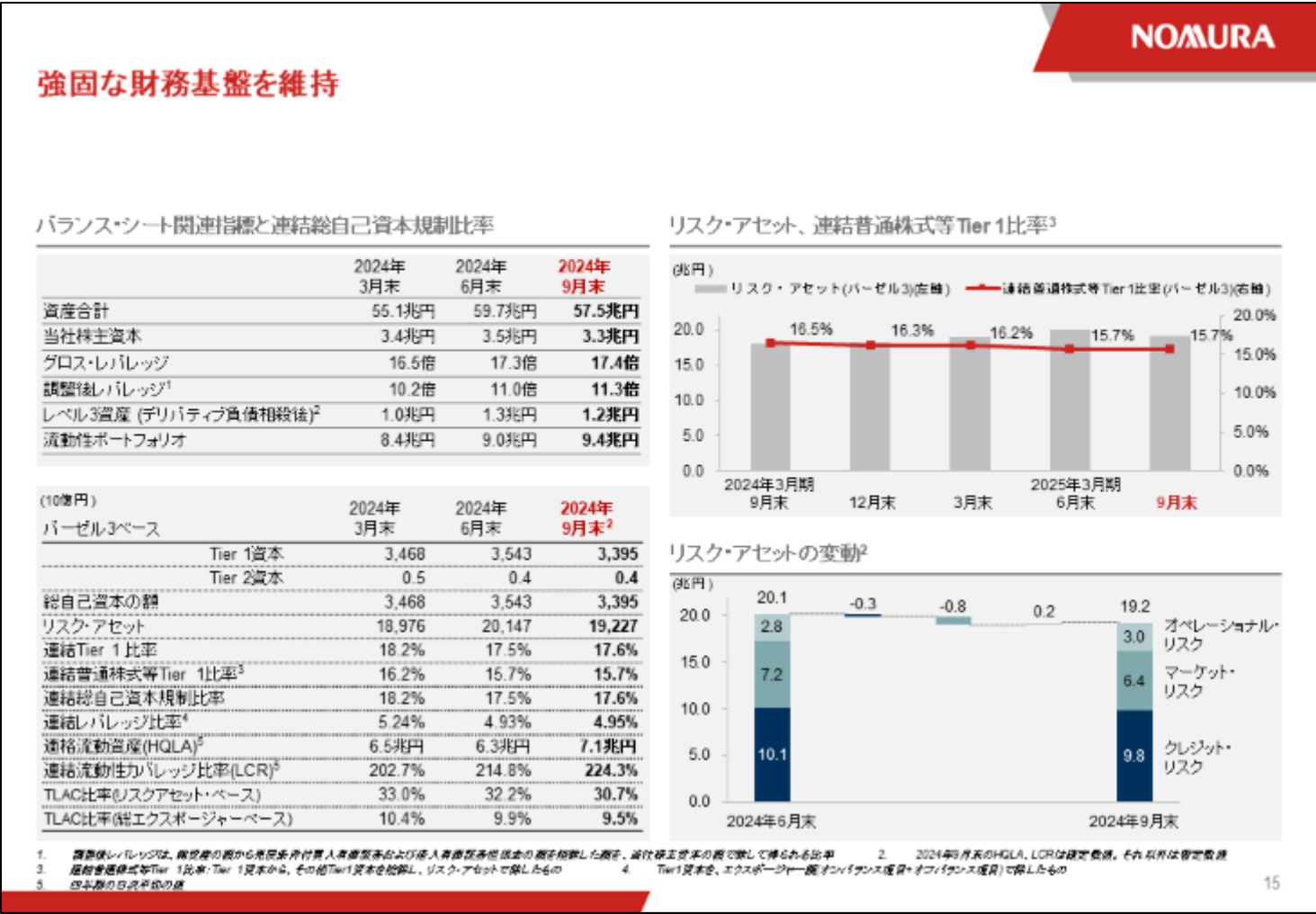
今期は米国景気の先行き不安やハイテク株の続落、地政学的リスクなどを背景にボラティリティが上昇する局面もありましたが、マーケットへの流動性供給を行いながら、活発な顧客フローを収益につなげることが出来ました。

フィクスト・インカム収益は1,278億円、2%の増収です。特にマクロ・プロダクトが好調で、金利プロダクトは、顧客アクティビティが増加した日本と米州が増収、為替／エマージングはアジアが回復しました。一方でスプレッド・プロダクトは、クレジットが好調だった前期からの反動減で日本が減収、証券化商品も米州中心に減収となっています。

エクイティ収益は932億円、14%の増収となりました。
特に日本やアジアのファイナンスやデリバティブが好調で、エクイティ・プロダクトは大幅増収となっています。







最後に、財務基盤です。15ページをご覧ください。

左下のテーブルにあるTier 1資本は約3.4兆円と、6月末から1,500億円ほど減少、一方でリスク・アセットも19.2兆円と、0.9兆円ほど減少した結果、9月末のTier 1比率は17.6%、普通株式等Tier 1比率は15.7%と、ほぼ前期並みの水準となっています。

以上、第2四半期決算についてご説明申し上げました。



最後になりますが、今期は相場急変もあったなか、年換算ROEは 11.6%と、2030年の定量目標「ROE 8～10%+」の安定的な達成に向けて2四半期連続で実績を残すことができました。

11.6%というROEは、2020年10－12月期以来の高水準で、当時は3セグメントの税前提利益の約6割をホールセール部門が稼いでいましたが、いまは3部門でバランス良く利益を出す体制になり、ROEの質が向上していると言えます。安定収益であるウェルス・マネジメント部門のストック収入とインベストメント・マネジメント部門の事業収益は、当時から8割近く増加し、根雪部分ともいえるベースラインROEが底上げされています。ホールセール部門の収益構造も、エクイティ・プロダクトや証券化商品など、マクロ・プロダクトに続く第2、第3の柱が育ち、収益の多様化が進んでいます。

10月に入り、多くの政治イベントを控えて様子見姿勢が強まっており、ウェルス・マネジメント部門とホールセール部門は、好調だった第2四半期からは、さすがにスローダウンしていますが、ウェルス・マネジメント部門収益は引き続き高水準で、ベースラインROEに貢献していますし、ホールセール収益の分散は続いています。

第2四半期でお示したように、今後もコスト・コントロールを徹底しつつ、市場環境に応じた適切なリスクテイクを通じて、ボトム利益の底上げを目指していきます。

今後とも、どうぞ宜しくお願いいたします。

バランス・シート関連データ

連結貸借対照表

(10億円)							
	2024年 3月末	2024年 9月末	前期比 増減		2024年 3月末	2024年 9月末	前期比 増減
資産				負債			
現金・預金	5,155	5,790	635	短期借入	1,055	897	-158
貸付金および受取債権	6,834	6,817	-17	支払債務および受入預金	6,490	7,179	689
担保付契約	20,995	20,200	-795	担保付調達	19,397	20,239	842
トレーディング資産および プライベートエクイティ・デット投資 ¹	19,657	22,135	2,478	トレーディング負債	10,891	11,383	493
その他の資産 ¹	2,507	2,516	9	その他の負債	1,415	1,316	-99
				長期借入	12,452	13,048	596
資産合計	55,147	57,459	2,311	負債合計	51,699	54,062	2,364
				資本			
				当社株主資本合計	3,350	3,301	-49
				非支配持分	98	96	-3
				負債および資本合計	55,147	57,459	2,311

1. 証券輸入負債控除を含む

バリュー・アット・リスク

- VaRの前提

- 信頼区間 : 95%

- 保有期間 : 1日

- 商品の価格変動等を考慮
- VaRの実績(10億円)

- 期間 : 2024.4.1~2024.9.30

- 最大 : 6.9

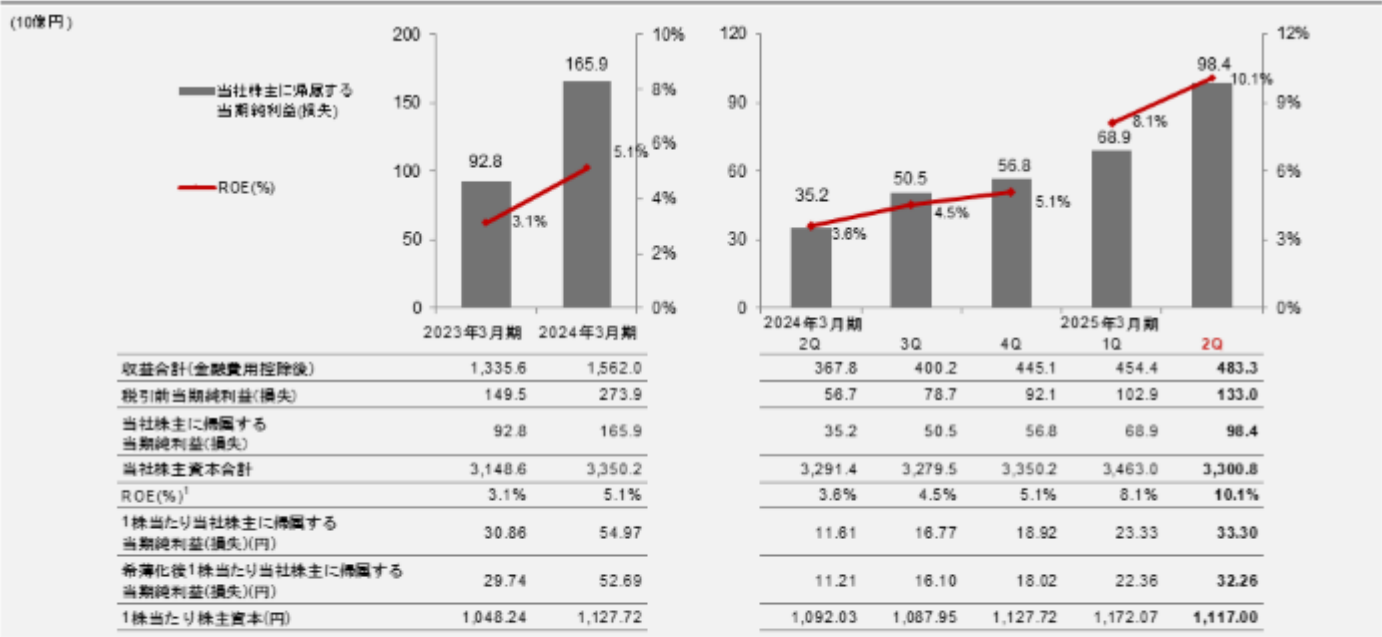
- 最小 : 4.5

- 平均 : 5.6

(10億円)

	2023年3月期 3月末	2024年3月期 3月末	2024年3月期 9月末	2024年3月期 12月末	2025年3月期 3月末	2025年3月期 6月末	2025年3月期 9月末
株式関連	3.3	3.3	3.0	3.6	3.3	3.2	3.0
金利関連	4.7	2.6	3.5	2.8	2.6	2.6	2.4
為替関連	1.4	2.1	1.7	2.3	2.1	2.4	2.4
小計	9.4	8.0	8.2	8.7	8.0	8.2	7.8
分散効果	-3.2	-2.5	-2.7	-2.9	-2.5	-2.9	-2.4
連結VaR	6.2	5.5	5.5	5.8	5.5	5.3	5.4

連結決算概要



1. 株主数のROEは、各決算期累計の当期純利益を基に算出

連結損益

(10億円)

	2023年3月期	2024年3月期	2024年3月期		2025年3月期		
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
収益							
委託・投信募集手数料	279.9	364.1	88.9	85.7	106.7	102.8	101.4
投資銀行業務手数料	113.2	173.3	38.6	55.2	48.3	41.3	53.3
アセットマネジメント業務手数料	271.7	310.2	76.7	77.5	84.2	90.3	93.8
トレーディング損益	563.3	491.6	116.6	125.1	134.4	132.0	147.7
プライベートエクイティ・デット投資 関連損益	14.5	11.9	1.1	1.9	2.0	3.2	1.6
金融収益	1,114.7	2,620.9	658.5	686.3	726.4	788.6	763.0
投資持分証券関連損益	-1.4	9.6	2.8	-3.4	5.4	1.4	-2.6
その他	130.9	175.8	29.5	52.1	63.4	58.4	83.3
収益合計	2,486.7	4,157.3	1,012.7	1,080.5	1,170.8	1,217.9	1,241.6
金融費用	1,151.1	2,595.3	644.9	680.3	725.7	763.4	758.2
収益合計(金融費用控除後)	1,335.6	1,562.0	367.8	400.2	445.1	454.4	483.3
金融費用以外の費用	1,186.1	1,288.2	311.0	321.5	353.0	351.5	350.3
税引前当期純利益(損失)	149.5	273.9	56.7	78.7	92.1	102.9	133.0
当社株主に帰属する当期純利益(損失)	92.8	165.9	35.2	50.5	56.8	68.9	98.4

連結決算: 主な収益の内訳

(10億円)		2023年 3月期	2024年 3月期	2024年3月期			2025年3月期	
				2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
委託・投信募集手数料	委託手数料-株式	190.8	242.7	58.3	56.4	72.7	64.9	66.9
	委託手数料-株式以外	17.9	15.6	4.0	3.9	3.8	4.1	4.4
	投信募集手数料	30.3	56.2	14.0	13.1	15.7	20.3	14.5
	その他手数料	41.0	49.5	12.6	12.3	14.5	13.4	15.5
	合計	279.9	364.1	88.9	85.7	106.7	102.8	101.4
投資銀行業務手数料	株式	18.9	45.5	13.1	17.9	9.9	7.4	19.3
	債券	21.1	27.5	5.2	7.9	9.0	8.8	11.4
	M&A・財務コンサルティングフィー	53.9	61.6	10.0	21.0	17.0	16.6	15.3
	その他	19.3	38.8	10.3	8.4	12.4	8.4	7.3
	合計	113.2	173.3	38.6	55.2	48.3	41.3	53.3
アセットマネジメント 業務手数料	アセットマネジメントフィー	171.3	193.5	47.6	48.1	52.5	55.9	58.3
	アセット残高報酬	76.2	88.2	22.0	22.2	23.9	26.5	27.3
	カストディアルフィー	24.2	28.5	7.0	7.2	7.7	8.0	8.3
	合計	271.7	310.2	76.7	77.5	84.2	90.3	93.8

連結決算:セグメント情報と地域別情報 税前利益(損失)

連結決算数値とセグメント数値間の調整:税前利益(損失)

(10億円)	2023年3月期	2024年3月期	2024年3月期		2025年3月期		
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
ウェルス・マネジメント部門	33.5	122.7	29.0	31.9	38.8	42.3	45.3
インベストメント・マネジメント部門	43.5	60.2	23.2	15.6	17.8	23.2	31.9
ホールセール部門	29.4	53.9	8.3	23.0	20.6	21.1	45.3
3セグメント合計税前利益	106.4	236.8	60.5	70.5	77.1	86.6	122.5
その他	73.4	47.4	-6.5	21.2	10.8	15.1	13.7
セグメント合計税前利益	179.7	284.2	54.1	91.7	87.9	101.7	136.2
営業目的で保有する 投資持分証券の評価損益	-30.3	-10.3	2.7	-13.0	4.2	1.2	-3.2
税前利益(損失)	149.5	273.9	56.7	78.7	92.1	102.9	133.0

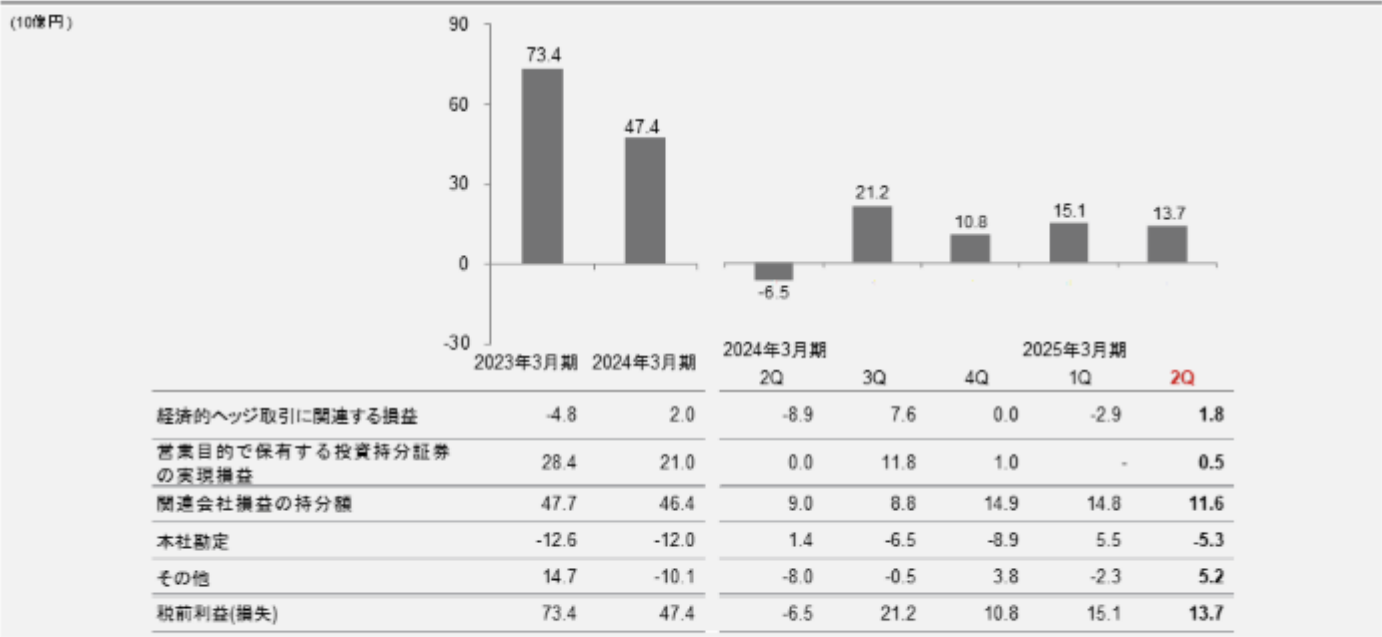
地域別情報:税前利益(損失)¹⁾

(10億円)	2023年3月期	2024年3月期	2024年3月期		2025年3月期		
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
米 州	-51.7	14.7	13.1	7.1	14.3	13.3	19.8
欧 州	9.2	-33.1	-9.2	0.8	-18.8	-4.8	3.0
アジア・オセアニア	31.0	23.8	2.5	10.1	9.3	8.4	17.0
海外合計	-11.5	5.4	6.5	18.0	4.8	17.0	39.8
日本	161.0	268.5	50.2	60.7	87.3	86.0	93.3
税前利益(損失)	149.5	273.9	56.7	78.7	92.1	102.9	133.0

1. 米州を対米別に基づく「地域別情報」を記載。但し、当期の四半期の数値は速報値。米州を対米別に基づく「地域別情報」は、その収益および費用の各地域への配分が原則として税務の課税される法的主体の所在国に基づき行われており、当社の会計で税務管理目的で用いられているものではありません。

セグメント「その他」

税前利益(損失)

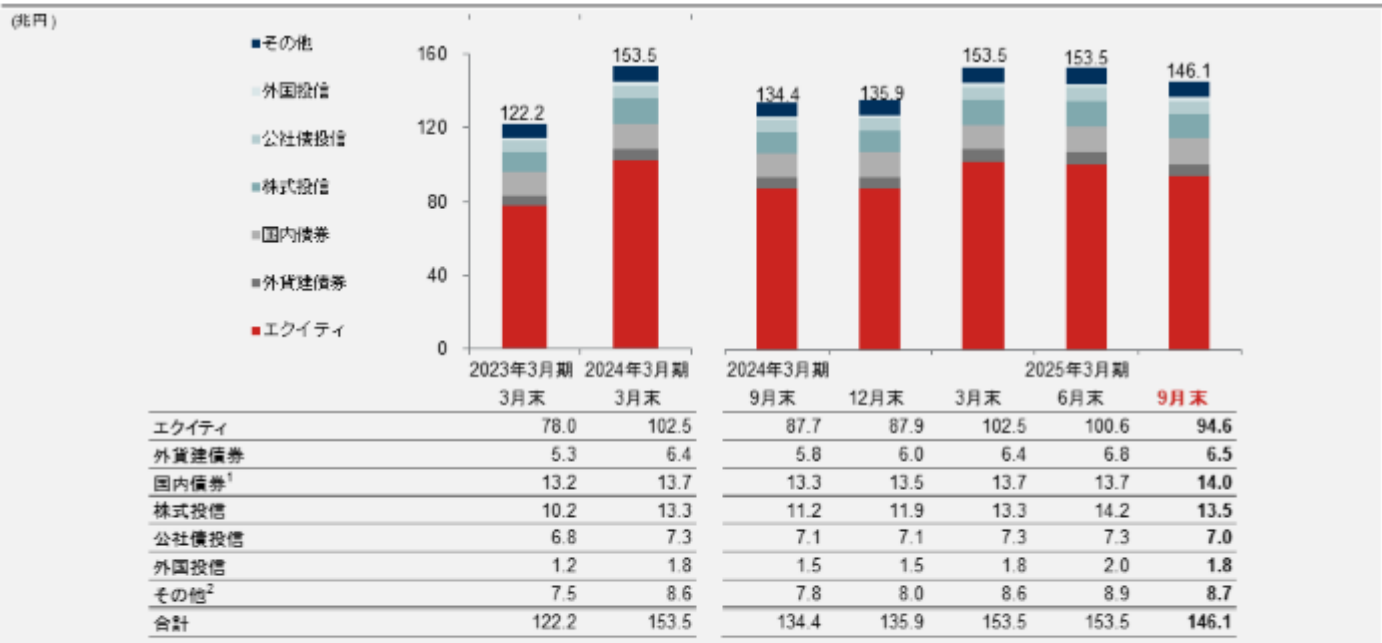


ウェルス・マネジメント部門関連データ(1)

(10億円)	2023年3月期	2024年3月期	2024年3月期		2025年3月期				
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	前四半期比	前年同期比
委託・投信募集手数料	112.5	173.5	41.9	41.1	49.1	49.8	43.3	-13.0%	3.3%
うち株式委託手数料	50.9	80.2	18.8	17.2	25.1	19.1	17.7	-6.9%	-5.6%
うち投資信託募集手数料	30.2	54.9	13.5	13.1	15.0	20.2	14.1	-30.3%	4.4%
販売報酬	44.2	55.9	14.9	14.3	14.0	14.5	15.6	7.2%	4.7%
投資銀行業務手数料等	16.2	23.1	5.1	9.1	5.1	4.4	10.5	137.3%	108.3%
投資信託販売報酬等	108.1	124.4	31.0	31.2	33.9	37.5	39.0	4.0%	25.9%
純金融収益等	19.3	25.5	6.1	6.9	6.7	7.7	8.2	7.4%	35.5%
収益合計(金融費用控除後)	300.2	402.4	98.9	102.6	108.8	114.0	116.7	2.4%	18.0%
金融費用以外の費用	266.7	279.7	69.9	70.7	70.0	71.7	71.4	-0.4%	2.2%
税引利益	33.5	122.7	29.0	31.9	38.8	42.3	45.3	7.2%	55.9%
国内投信販売金額	2,111.0	3,271.8	820.5	757.6	966.9	1,203.5	899.0	-25.3%	9.6%
株式投信	1,560.3	2,525.9	626.6	627.3	664.0	955.6	719.8	-24.7%	14.9%
外国投信	550.7	745.9	193.9	130.3	302.9	247.9	179.2	-27.7%	-7.6%
その他									
個人向け国債販売額 (約定ベース)	526.2	398.9	99.6	127.7	68.5	113.4	38.6	-66.0%	-61.2%

ウェルス・マネジメント部門関連データ(2)

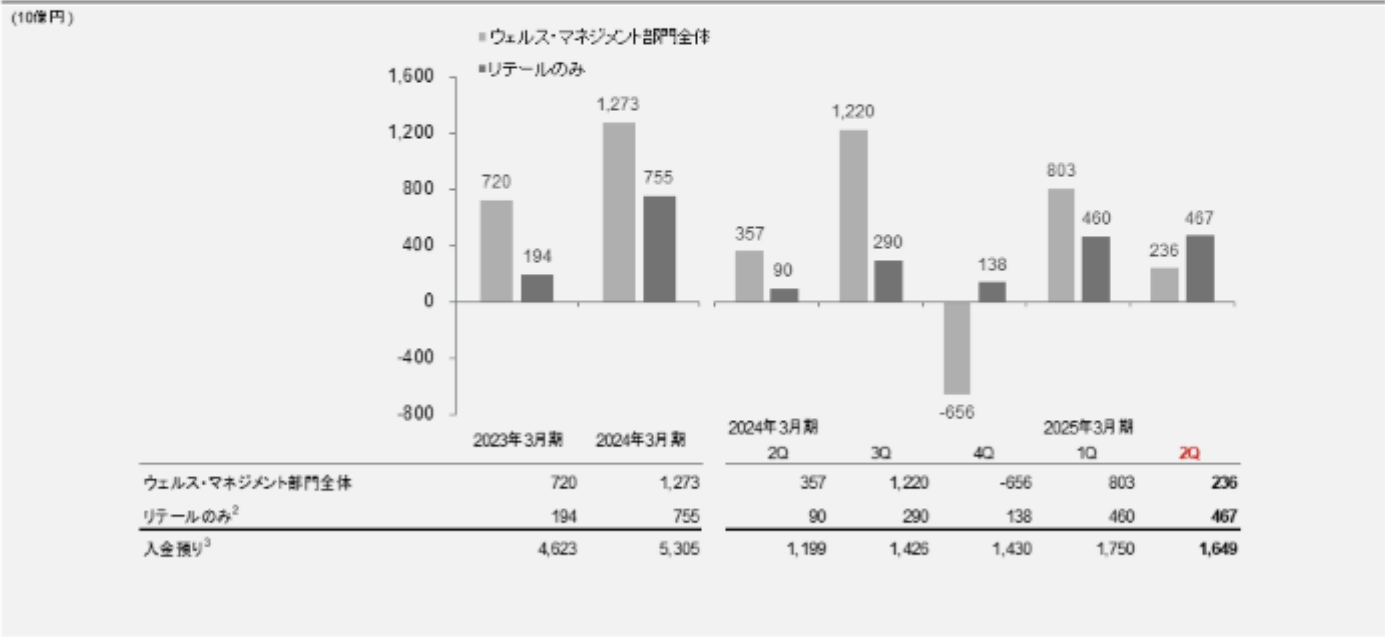
ウェルス・マネジメント部門顧客資産残高



1. CB・ワンプのみの 2. 本資産残高の残高残高のみの

ウェルス・マネジメント部門関連データ(3)

現金本券差引¹⁾



1. 現金および証券の増減から現金差引
2. リテールは、ウェルス・マネジメント部門全体の差引から、法人課、プライベート・ウェルス・マネジメントグループ及びワークプレイス・サービスを除いて算定。2025年3月期1Qから累計期間を変更したことから、2024年3月期4Q以前の数字を修正
3. リテールのみ対象。2025年3月期1Qから累計期間を変更したことから、2024年3月期4Q以前の数字を修正

ウェルス・マネジメント部門関連データ(4)

口座数

(千口座)	2023年3月期	2024年3月期	2024年3月期		2025年3月期		
	3月末	3月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
残あり顧客口座数	5,353	5,496	5,396	5,448	5,496	5,524	5,888
株式保有口座数	2,993	2,972	2,962	2,964	2,972	2,978	3,265
NISA開設口座数 ¹	1,632	1,780	1,699	1,758	1,780	1,745	1,763
オンラインサービス口座数	5,208	5,582	5,377	5,476	5,582	5,655	5,796

個人新規開設口座数・IT比率²

(千口座)	2023年3月期	2024年3月期	2024年3月期		2025年3月期		
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
個人新規開設口座数	199	334	88	87	99	83	81
IT比率 ²							
売買件数ベース	85%	84%	84%	83%	84%	84%	86%
売買金額ベース	59%	59%	58%	59%	59%	58%	61%

1. 2024年6月末時点の数値からジュニアNISA口座数を含まない
2. 得意株の5%、オンラインサービスを通じて売買された割合

インベストメント・マネジメント部門関連データ(1)

収益合計(金融費用控除後)、税前利益/損失

(10億円)			2024年3月期		2025年3月期		前四	前年	
	2023年3月期	2024年3月期	2Q	3Q	4Q	1Q	半期比	同期比	
事業収益	120.7	137.2	33.4	33.3	38.0	39.1	39.4	0.7%	17.9%
投資損益	7.9	16.9	11.7	5.6	5.6	8.6	16.7	94.7%	42.7%
収益合計(金融費用控除後)	128.6	154.1	45.1	38.9	43.6	47.7	56.1	17.7%	24.3%
金融費用以外の費用	85.1	93.9	21.9	23.3	25.8	24.5	24.2	-1.4%	10.3%
税前利益(損失)	43.5	60.2	23.2	15.6	17.8	23.2	31.9	37.8%	37.6%

運用資産残高 - 会社別¹⁾

(兆円)	2023年3月期		2024年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	3月末	3月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	
野村アセットマネジメント	69.1	91.0	78.3	80.4	91.0	91.4	87.7	
ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント他 ²⁾	3.9	5.6	4.9	5.0	5.6	6.2	5.9	
運用資産残高(グロス) ²⁾	73.0	96.6	83.2	85.5	96.6	97.5	93.6	
グループ会社間の重複資産	5.7	7.6	6.7	7.0	7.6	5.0	4.8	
運用資産残高(ネット) ³⁾	67.3	89.0	76.5	78.5	89.0	92.5	88.8	

1. 2024年4月1日付の半期決算資料に際し、2024年6月末の野村アセットマネジメントの運用資産残高(グロス)およびグループ会社間の重複資産から同額の運用資産残高が減少
2. 野村アセットマネジメント、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、ウエルス・スミティアの運用資産残高にインベストメント・マネジメント部門傘下の運用会社の運用資産に対する前三半による投資額の合計
3. 運用資産残高(グロス)から重複資産を控除

インベストメント・マネジメント部門関連データ(2)

インベストメント・マネジメント部門 資金流入－ビジネス別¹⁾

(10億円)	2023年3月期	2024年3月期	2024年3月期		2025年3月期		
			2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
投資信託ビジネス	156	1,845	475	-60	780	695	655
うちETF	-250	473	266	-131	296	145	521
投資顧問・海外ビジネス他	-916	1,915	118	385	347	256	468
資金流入 合計	-760	3,760	593	326	1,128	951	1,123

国内公募投信残高推移と野村アセットマネジメントのシェア²⁾

(兆円)	2023年3月期	2024年3月期	2024年3月期		2025年3月期		
	3月末	3月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
国内公募投信残高							
マーケット	166.2	227.0	169.1	196.9	227.0	237.4	230.2
野村アセットマネジメントシェア	27%	26%	27%	26%	26%	26%	25%
国内公募株式投信残高							
マーケット	152.2	211.0	173.4	181.3	211.0	221.6	215.2
野村アセットマネジメントシェア	25%	25%	25%	25%	25%	24%	24%
国内公募公社債投信残高							
マーケット	13.9	16.0	15.7	15.6	16.0	15.8	15.0
野村アセットマネジメントシェア	44%	44%	43%	44%	44%	44%	44%
ETF 残高							
マーケット	63.3	89.6	73.1	74.9	89.6	89.6	85.9
野村アセットマネジメントシェア	44%	43%	43%	43%	43%	44%	44%

1. 運用資産残高(ネット)に基づく現金給付 2. 出所：投資信託協会のデータ

ホールセール部門関連データ

収益合計(金融費用控除後)、税引利益/損失

	(10億円)		2024年3月期			2025年3月期		前四 半期比	前年 同期比
	2023年3月期	2024年3月期	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
収益合計(金融費用控除後)	772.4	866.1	204.1	217.0	254.2	244.8	263.4	7.6%	29.1%
金融費用以外の費用	743.0	812.2	195.8	194.0	233.6	223.7	218.1	-2.5%	11.4%
税引利益(損失)	29.4	53.9	8.3	23.0	20.6	21.1	45.3	114.5%	5.5x

ホールセール部門 収益の内訳

	(10億円)		2024年3月期			2025年3月期		前四 半期比	前年 同期比
	2023年3月期	2024年3月期	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
フィクスト・インカム	402.4	420.3	96.9	103.5	122.6	125.6	127.8	1.8%	32.0%
エクイティ	253.9	286.8	73.8	68.2	81.9	82.0	93.2	13.7%	26.3%
グローバル・マーケット	656.3	707.1	170.7	171.6	204.4	207.7	221.1	6.5%	29.5%
インベストメント・バンキング	116.1	159.0	33.4	45.4	49.8	37.2	42.3	13.8%	26.7%
収益合計(金融費用控除後)	772.4	866.1	204.1	217.0	254.2	244.8	263.4	7.6%	29.1%

人員数

	2023年3月期 3月末	2024年3月期 3月末	2024年3月期 9月末	2024年3月期 12月末	2025年3月期 3月末	2025年3月期 6月末	2025年3月期 9月末
日本	15,131	14,870	15,158	14,996	14,870	15,215	15,045
欧州	2,937	3,053	2,993	3,015	3,053	3,057	3,111
米州	2,387	2,440	2,486	2,458	2,440	2,450	2,502
アジア・オセアニア ¹	6,320	6,487	6,492	6,449	6,487	6,622	6,724
合計	26,775	26,850	27,129	26,918	26,850	27,344	27,382

1. インバウンド・オフィスを含む

Disclaimer

本資料は、野村ホールディングス株式会社が、米国会計基準による2025年3月期第2四半期に関する情報の提供を目的として作成したものです。

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。売付または買付の勧誘は、それぞれの国・地域の法令諸規則等に則って作成・配布される募集関連書類または目録見書に基づいて行われます。

本資料に掲載されている情報や意見は、信頼できると考えられる情報源より取得したものです。その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料の一切の権利は別段の記載がない限り野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。

本資料は、将来の予測等に関する情報(「将来予測」)を含む場合があります。また当社の経営陣は将来予測に関する発言を行うことがあります。これらの情報は、過去の事実ではなく、あくまで将来の事象に対する当社の予測にすぎず、その多くは本質的に不確実であり、当社が管理できないものであります。実際の結果や財務状態は、これらの将来予測に示されたものとは、場合によっては著しく異なる可能性があります。したがって、将来予測は、過度に信頼すべきではなく、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。実際の結果に影響を与える可能性がある重要なリスク要因としては、経済情勢、市場環境、政治的イベント、投資家のセンチメント、セカンダリー市場の流動性、金利の水準とボラティリティ、為替レート、有価証券の評価、競争の条件と質、取引の回数とタイミング等が含まれるほか、当社ウェブサイト (<https://www.nomura.com>)、EDINET (<https://info.edinet-fsa.go.jp/>) または米国証券取引委員会 (SEC) ウェブサイト (<https://www.sec.gov>) に掲載されている有価証券報告書等、SECIに提出した様式20-F年次報告書等の当社の各種開示書類にもより詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来予測に変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。

Nomura Holdings, Inc.
www.nomura.com/jp/